

長崎居留地エリアの課題



歴史的建造物の保存・活用について

洋館の老朽 / 維持管理が大変

洋館の活用方法が市民や来訪者のニーズと合致してない

展示物の老朽化が目立つ

指定管理者のメリットが少ない

やむを得ず解体される洋館がある

洋館の使い方、借り方の情報が発信できていない

居留地全域の情報発信不足

バリアフリーが行き届いていない



歴史的建造物の周辺環境の保全・形成について

まちの統一感がない

学生が館内、新地を通過するため居留地を歩かない

小学校跡地の活用が進まない

大浦国際墓地周辺にトイレがない

大浦川沿いの老朽化した建物の景観がよくない

景観を損ねる老朽化した看板や、電線・電柱がある

オランダ坂から7棟までの導線が寂しい（暗い）

銅冠山に行く案内が分かりにくい（二本松、東琴平）

マンションの一階が駐車場だらけになり賑わいが少ない



歴史的な営みや活動の継承について

自治会に入らない人が多いためまちづくりの後継者がいない

金刀比羅神社が活かされていない

親がくんちの手伝いをするのを嫌がる人も多い

学校と地域が連携した取り組みが少ない

伝統を残しながら負担を少なくしていくことが大切

街並み保存会の人手不足

くんちを出すのにお金と人が不足してきている

神社と地域の関係性をどうつくっていくかが課題

御旅所を置く場所がない



賑わいの創出について

観光地なのに観光案内所がない

休む場所、お土産を買うところ、お茶する場所が少ない

居留地に通う学生や働いている人が居留地で買い物をしていない

グラバー園から以南への人の流れがない

伝建地区の規制や、風致地区の規制が厳しく新しい人が住みにくい

空き店舗が増えている



暮らしに関する課題

観光客や外国人の中にマナーがなっていない人がいる

マンションの住民の自治会離れが進んでいる

3連合の繋がりをもっと強くしたい

斜面をつなぐ縦の移動（EV）と横道の整備をして欲しい

斜面地のルールに合わない規制が多くある（開発許可など）

石橋が購買拠点として力を失っている

空き家の増加

マリア園の子どもが18歳でいきなり社会に出る / 地域でフォローしたい

地域に協議会の取り組みを知らせていくことが必要

出雲町の道路が狭い（現在拡幅工事中）



長崎居留地エリアの アイデア

歴史的建造物の保存・活用について

- まちづくり基金をつくる
- 各施設に眠っている写真で展示会の開催
- 洋館サポーターズをつくり自主的に洋館を維持
- 地域限定パスポートで住民は洋館に無料で入れる
- 各洋館の洋館保存活用計画を見直す
- 東山手7棟の活用（学生の利用、カフェ、スイーツ、宿泊施設、若者の働く場に）
- 洋館に住んでいる人同士で洋館の維持管理について話し合う場を持つ
- 南の保存センターにカフェや飲食をバラや花を活用した場所に
- ドッグハウスとスチール記念学校を園外からアクセスできるようにして住民が借りられるよにする

歴史的な営みや活動の継承について

- 居留地を学ぶ会を開催
- スチール記念学校をまちづくりセンターにする
- 小曽根乾堂のPR
- 昔の大浦くんちの写真展を開催
- 学校と地域が連携した学びのカリキュラムをつくる
- 放課後子ども教室として子どもたちにグラバー園を開放
- 地域の幼稚園と連携してくんちの出しものを行う
- 活水の見学会の開催
- 祈りの三角ゾーンパワースポットめぐり
- 山手応援隊など町外の若者にくんちに参加してもらう

歴史的建造物の周辺環境の保全・形成について

- 浪の平空中散歩でグラバー園から金刀比羅神社までのアクセスを提案・整備
- 大浦川界隈の老朽化した建物を解体してお店をつくる
- グラバー園の第3ゲートの開放
- オランダ坂の終点に何か目標をつくる

賑わいの創出について

- 観光案内所をつくる
- 隣まちと連携（中新町、館内など）
- エリア全体のお店や体験までが網羅されたMAPをつくる
- 居留地クリスマス（洋館、大学、教会）に力を入れる
- 活水、AIG、市民病院など、女性をターゲットにした取り組みを居留地商店街で行う
- 居留地のホームページを作って情報発信
- 長崎タータンの活用・販売
- 居留地総合会社を作って、商品開発からまちづくりまで行う

暮らしに関して

- 空き地になったところで野菜を栽培し、時給する
- 今回の計画に合わせて居留地オリジナルの地区計画を作りたい
- 高齢者が気軽に降りてこられる、ローカルな斜面地の交通システムを開発
- 大浦川沿いとオランダ通り沿いに生活に関する機能を集約する

長崎居留地エリアの 将来像

長崎居留地の将来像

- 昔のようにいろんな国の人があるまちに！
- 昔の賑やかな大浦界隈のようにしたい！
- 居留地から居住地に！
- 長崎の地と観光地とのハブになるような場所に！
- 学ぶ機能、活動する場所を増やしたい！
- 各地域で協力しあって地域をひとつにしたい！
- 地域活性化につながる「ふるさと教育」をしたい！
- 情報をとりにくる場所にしたい！
- 居留地時代の外国人のように、若者が夢に挑戦できるまちにしたい！

旧長崎英国領事館の保存・活用について

- 居留地のエントランスなので / 観光案内所の機能を入れてほしい
- 市民が気軽に使えて、飲食もできる場所に
- 長崎居留地について学べて、地域の情報発信ができる場所に
- 美術館だけの機能にはしたくない